学校番号	1007

令和８年度　理科

教科	理科	科目	環境科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は、みなさんの身の回りにあるものや身の回りで起こる事象に対し、興味・関心をもつことが必要です。

・身の回りで起こる事象に対して疑問を持ち、それについて自ら考えること。
・実験では、正しい器具の扱い方・操作方法を身につけるとともに、その理由も考えること。
・実験ﾚﾎﾟｰﾄには、気づいたことや実験の様子なども書きとめ、そこから考察ができるように。
・実験や観察の結果からわかったことを、他者に伝える力を身につけること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
身の回りの事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い科学的に探求する能力と態度を育てるとともに、実験器具の正しい扱い方や操作方法を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
実験や観察で得た結果から、疑問点に対する答えを導き出す力を身につける。
・自分の考えを表現する方法、表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
周りの人と共同して、実験を行い疑問点、課題を積極的に解決しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身の回りの事物・現象についての観察・実験などを行うことを通して、理科の基本的な概念や原理・法則を理解することができる。 身の回りの事物・現象に関する観察、実験の技術を習得するとともに、それらを科学的に探求する方法を身につけることができる。	身の回りの事物・現象の中に疑問をもち、観察、実験、調査などを行って得た結果について科学的に思考し、判断することができる。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現することができる。	身の回りの事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決しようとする。また、科学的に探究することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基本的実験操作	実験器具の正しい使い方を理解する ・実験器具を扱う練習 ・醤油に含まれる塩分量を調べる ・「混ぜるな危険」を混ぜてみる ・花火 など	a:実験に必要な実験器具の名称、正しい使い方を理解する。 b:　実験・観察などを通して科学的に思考できる。また、実験の結果などをまとめて発表することやレポートに文章でまとめることができる。 c:身の回りの事物・事象に興味をもち、意欲的に探求しようとする態度を身につけている。	・小テスト ・実験レポート ・確認プリント	・実験レポートの提出 ・発表	・実験への取り組み ・授業態度 ・ファイルの提出状況
2学期	科学と人間生活	自分の身体について理解する ・盲斑を調べる ・キューティクルの観察　など 物体が飛ぶ原理について考える ・カサ袋ロケット ・紙飛行機 ・ペットボトル空気砲　など 防災について考える ・防災力チェック ・避難マップ ・新聞紙スリッパ　など	a:眼や毛髪の仕組みについて理解できる。物体が飛ぶ原理について理解できる。 b:実習・観察を通して科学的に思考できる。また、実習の結果などをまとめて発表することやレポートに文章でまとめることができる。 c:　身の回りの事物・事象に興味をもち、意欲的に探求しようとする態度を身につけている。	・小テスト ・実験レポート ・確認プリント	・実験レポートの提出 ・発表	・実験への取り組み ・授業態度 ・ファイルの提出状況
3学期	探究学習	グループでの発表 ・実験についての実践報告 ・実験動画	a:実験についての基本的な操作が身についている。実験に必要な器具や薬品を準備できる。 b:実験結果を通して、物事を科学的にとらえ、実験結果ついて論理だて、説明ができる。実践レポートや動画で表現することができる。 c:自分たちで興味を持った課題について、意欲的に探求しようとする態度を身につけている。	・確認プリント ・実験プリント	・実験レポート ・実験プリント ・発表	・実験への取り組み ・授業態度 ・ファイルの提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度